

# おおの議会だより

No. 53  
58.5.1



“あなたです。火事を出すのも防ぐのも”

## 昭和58年度当初予算決まる

一般会計83億6,635万円

第205回定例会市議会は3月10日招集され、会期を25日までの16日間と定め、市長の昭和58年度当初予算案の提案説明があり、理事者から提出の議案22件を慎重に審議しました。その結果「昭和58年度一般会計予算」「大野市図書館設置条例」など全議案を原案どおり可決・同意しました。また請願・陳情は別掲のとおり決め25日に閉会しました。

### 3月定例会審議日程

- |     |                           |
|-----|---------------------------|
| 10日 | 本会議（会期の決定、議案一括上程、提案理由の説明） |
| 14日 | 本会議（代表質問）                 |
| 15日 | 本会議（一般質問）                 |
| 16日 | 本会議（一般質問、各案件委員会付託）        |
| 17日 | } 委員会（産業経済・建設）            |
| 18日 |                           |
| 22日 | } 委員会（教育民生・総務）            |
| 23日 |                           |
| 25日 | 本会議（各委員長報告、質疑、討論、採決）      |



### 行政の効率化について 補助金の見直しと 民間委託への移行は

**補助金や事務、事業の見直しは**  
**問** 行政需要が一層増大することが予想される中で、膨大化した行政を基本から見直して能率的、効果的な行政運営を行うための体質改善が必要と思う。それには事務、事業や補助金などの見直しが必要ではないか。  
**答** 事務、事業の軽量化については今までも常に心掛けてきた。補助金については国においても第2次臨調の答申にもあるようにいろいろ問題になっているが、県でも一律10%カットしたとも聞く。当市も57年度に合理化委員会で討議し、県と同様の一律カットの答申も出たが、市は県と違って直接市民に接する立場上簡単にはできない。しかしこうした厳しい経済情勢下にあるので、今後とも事務、事業の見直しを進めたい。



また補助金についても、58年度中に各団体等に対して厳しい財政事情を訴え、理解を得ながら見直しをしたい。

#### 民間委託への移行は

**問** 行政コストの分析を行って民間委託を進めていくことはどうか。  
**答** コスト分析は行っていない。民間委託は経費の節減になるが、住民サービスの低下を考慮に入れると、コスト計算だけで安易にはできない。この1年間十分検討したい。

#### 市政座談会について

**問** 当市の厳しい財政事情について市民の理解を得るため、市政座談会で訴える対話を進めることはどうか。  
**答** 座談会は地区の要望に沿った形の中で進めていきたい。確かに陳情を多く聞くだけで終わっているケースが多いので、今後市の財政事情も訴えてははっきりした考え方を打ち出して理解を得たい。

### 下庄小学校改築 または新築移転計画 について

**問** 下庄小の木造校舎は老朽化し危険校舎に指定されているが、敷地も狭く、環境的にも適当でないと思う。改築または新築移転計画について伺いたい。  
**答** 以前から改築について要望されているが、校舎への出入りの不便など位置的な問題もあり全校舎新築の希望の声も多い。しかし全体新築は時期的に遅れるし、用地確保も困難である。市としては校舎への道路確保など周辺環境整備を十分地元と協議した上で、59年度中に現在地で一部危険校舎については改築したい。

### 総合病院について

**問** 総合病院の建設過程で財政、地域医療体制が障害になると思うが、市はこの点どのように考えているか。  
**答** 他の自治体の病院経営は大半が赤字で、十分な検討が必要である。現在は公的病院の誘致を考えている。経営形態にはセクター方式などもあり、今後の研究課題である。

### 大野市総合計画について 市民総合センターは

**問** 昭和55年に総合計画を策定したが、経済情勢の変化に伴い積み残された事業が数多くあるが、今後どう処理していく考えか。特に総合市民センターについてはどうか。  
**答** 総合市民センターについては用地の有効利用を図るため、複合施設として図書館、体育館、資料館、商工会議所、働く婦人の家等を建設する構想であったが、財政事情や国・県の補助金等の問題から1カ所に集合して建設することは極めて困難性が多い。これらの施設の優先順位を選択し年次計画を立てて、庁舎との関連性をもたせながら、6月議会までに提示して整備していきたい。  
 なお基本計画を変更する考えはなく、あくまでも忠実に実行していく決意である。



老朽化した下庄小学校

議案番号				議案名	結果
第3号	第4号	第5号	第6号		
昭和三十八年度大野市簡易水道事業特別会計予算	昭和五十八年度大野市老人保健特別会計予算	昭和五十八年度大野市国民健康保険事業特別会計予算	昭和五十八年度大野市一般会計予算	件	原案可決
〃	〃	〃	〃		

## 議案等の審議結果

### 上・下水道事業の促進 について

問 上・下水道事業を併行して建設することが急務と思うが、どうか。

また終末処理場用地を58年度中に確保する決意はどうか。

答 下水道の終末処理場用地は地元と折衝を重ねているが、大規模な面積を必要とし取得が困難な状況である。今後とも努力をしたいが地主だけでなく、周辺地区民の理解も必要であり、ある程度時間の掛かるもやむを得ないと思う。

なお事業実施には250億円前後を要するため受益者負担、起債が大きい。また上水道が完備されていない関係上、下水道を作れば地下水への影響も心配されるので、まず市民の理解が必要である。



### 国道158号線整備促進 について

問 国道158号線の整備促進は当市の産業振興、観光開発、企業の誘致を図る上で極めて重要である。足羽ダム建設問題とも併せて、関係市町村の官民一体の強力な推進母体を作って運動を展開していくべきと思うが、どうか。

答 朝夕のラッシュ時には特に車が多くて通勤者が困っていることはよく聞いている。先般も内海建設大臣が福田衆議院議長と一緒に現地に来られた際、実情をつぶさに訴え予算の配分等について強く要望した。足羽ダムとの関連もあるが、各関係機関と十分連携を取って強力に運動を進めたい。



老朽化した市営住宅(新在家)

### 市営住宅建設について

問 新年度公営住宅建設費として約2億8,000万円の巨額の前算が組まれているが、市の住宅事情から考えると疑問もある。施設管理計画はどうか。

答 現在の市営住宅は老朽化し危険な状態にある。国が永久建築を指導していることもあり、鉄筋3階建て住宅を建設することにした。北部第二区画整理地区の中に予定しており第1次(18戸分)の入居状況を見て第2次、第3次計画に取り掛かりたい。1戸当たりの家賃限度額は工事費から試算して約3万9,000円となるが、この決定は今後の問題である。

### ごみ処理に対する市民への 協力と指導について

問 市はごみ処理に年間2億円を費やしている。生ごみの家庭処理にはコンポストがあり、市民がこれを買入れる際に補助する考えはないか。

答 ごみ処理の経費節減は財政の厳しい中、真剣に取り組む必要があり、自家処理など市民の協力を得たい。まちづくり協議会など住民団体を通じて指導、普及を図りたい。コンポストの助成については今後の課題として検討したい。



### 県企業立地促進基金条例 について

問 電力移出県等交付金が56年度から本県へ4億円交付されることになり、県はこの交付金をもとに県企業立地促進基金条例を制定した。当市もこれに該当する事業はないか。

答 当市にはツツキ紡大野工場が進出しているの、敷地に関する道路整備が対象事業になるのではないかと県に申請した経緯がある。しかし補助対象とはならなかった。今後補助要綱を十分研究して、適格な事業があれば申請したい。



### 自衛隊の誘致について

問 議会は自衛隊誘致を決議しているが、どの程度まで話し合いが進んでいるのか。

答 自衛隊側の話では、まず演習場確保が第一とのことである。西谷地区巢原一帯が候補地にあがっているが、表立った調査をしたとは聞いていない。市も用地確保ができるか調査したが、権利者の数も多く、地方に分散しているため交渉は困難である。自衛隊に対しまだ強力に誘致願いをしたことはない。端的に言って非常に難しいと思う。

### 富田幼稚園建設計画について

**問** 富田幼稚園はここ数年入園希望者が多く、園舎も手狭であり老朽化しているため、建設が要望されているが建設計画について伺いたい。また職員の配置はどうなっているか。

**答** 公立幼稚園については上庄・小山・富田の各幼稚園の改築計画を立てる時期にきている。それぞれの地域の実状等を考え、計画的に建設を進めたい。

なお富田幼稚園については58年度で幼児教育に支障のないよう、遊戯室や便所等の補修、備品類についても予算措置をした。職員の増についても手配済である。



### 消費者行政について

**問** 消費者行政の実質活動費は、消費者グループの助成と委託費を合せてわずか43万円しかなく、果たして十分な消費者活動ができるのか。

**答** 市民の満足のいく行政を目指すことは基本の姿勢ではあるが、個々の問題については今後対処していきたい。

### 国道整備対策特別委員会を設置

定例会最終日の3月25日の本会議において、国道157・158号両線の整備促進を図るため、国道整備対策特別委員会が設置され、今後強力な運動を展開していくことになりました。委員は次のとおり。

- (◎委員長 ○副委員長)
- ◎奥村 忠光 ○松田 庄二
  - 藤田 護 幅口 登
  - 高津 靖生 林 保信
  - 宮本 弘 平間 源治



老朽化した富田幼稚園

### 人権擁護委員候補者の推薦に同意

南 豊氏 (67才)  
(大野市田野)

### 集会所建設について

**問** 北部第二区画整理事業は現在実施中であるが、敷地もすでに確保しており集会所を建設して欲しいが。

**答** 集会所は10地区に分けて建設する計画である。昨年も3ヵ所建設したが、本年度も2ヵ所予算化した。まだどこに建設するか決定していないが、用地や自主的な運営の問題など十分地域の方と話し合いをして建設したい。北部第二区画の中にも設けるべきと考えている。



### 第3期転作配分について

**問** 水田利用再編対策が第3期を迎えるが、適正配分となるよう働き掛けて欲しい。また58年度減反面積の修正により、農家は対策に苦慮しているため方針を伺いたい。

**答** 転作割当ての見通しは国においてもまだ立っていない。早期決定を望んでいるが、それまでに転作率の是正を強く求めている。58年度の微調整については地域互助制度の拡大ということで、当市も予算を計上した。農家の方とも十分相談して検討したい。



### 教育民生費の予算減について 人づくりのための予算措置は

**問** 投資的経費を増大するあまり教育民生費にしわ寄せがないか。ちなみに教育民生費は約20%減になっている。特に人づくりのための盛るべき予算を削ってはいないか。

**答** 投資的経費は約0.4%の伸びでほぼ前年並み。土木費の38.4%の伸びは市営住宅や都市計画事業などが原因である。教育民生費の20%減は上庄小学校などの教育施設の建設事業が落ち着いたためである。関係経費では特に減ったものはなく、前年並みにしたつもりである。社会教育予算は約46%伸びている。

なお人づくりは金だけでは出来るものではないと思う。



# 委員会報告

—各委員長報告から—

## ● 教育民生委員会

### ① 青少年の非行化防止対策について

この問題は今日の国民的な課題として、その重要性和緊急性にかんがみ、再三にわたって当委員会はもとより、本会議においても教育委員会の最重点施策として、積極的に取り組むよう強く要望してきた。しかし

なんら具体的な方策や予算的な裏付けがないことは誠に残念である。果たして現実の問題として非行の実態をどう受け止めているのか、全く悲そう観が感じられないとの強い指摘

があった。この点理事者に対して説明を求めたところ、「今後の補正において十分善処したい」との答弁だったが、今後とも青少年の非行の現状と動向を見極め、青少年を取り巻く基本的な問題点を分析しつつ、家庭・学校・社会の各教育の一貫したキメ細かな施策推進を図るとともに、非行を防止する風潮を市内の隅々まで広め、市民総ぐるみの運動を展開していくことが肝要である。学校、家庭、職場、地域、関係機関の連携体制の強化を図り、青少年の健全育成に一層努力されるよう強く要望する。

### ② 簡易浄化槽の普及に伴う指導強化について

生活様式の近代化に伴い簡易浄化槽が普及し、設置世帯も約2,000戸と聞く。しかし監督が不十分なため市民からの苦情が多く、地下水汚染や河川の水質保全上重大な問題である。市民自ら保守、点検すべき義務があるにもかかわらず、遵守してい

ないところに大きな要因があり、市民のモラル向上を図るため社会教育が大切である。一方監督権限のある保健所に対しても、対策強化を強硬に申し入れること。

またこれが解決策としては究極的には下水道事業の促進以外になく、その促進方も併せて強く要望する。



## ● 建設委員会

### ① ごみ焼却場へ通ずる市道山下線の借地料について

道路の公共性、永続性にかんがみ道路敷地は買収を前提条件として、道路の整備促進を図ってきた。しかし市道山下線だけ借地料を払っていることは全く不可解である。例外措置を認めておくことは、今後の道路整備促進上公平を欠くばかりでなく、市民から道路行政に対する不信を招くことになるので、早急に買収されたい。

### ② 市営住宅建設に伴う家賃について

市は本年度から3年間に54戸の市営住宅の建設促進を図っていくわけであるが、家賃の決定に当たっては

公営住宅制度本来の趣旨にかんがみ、真に住宅に困窮する世帯が入居できるよう十分配慮されたい。

## ● 産業経済委員会

### ① 企業誘致について

市勢の進展と魅力あるまちづくりの実現には、企業の誘致を図ることが、当市の最優先的課題である。基幹産業である繊維産業も長い不況下にあつて、あらゆる自助努力を図ってはいるが、まだ景気回復の兆しも見られず、離職者の増大や新学卒者の雇用状況などは厳しい問題となっている。活力あるまちづくりのため地場産業の振興を図ることはもとより、企業誘致についても全力を挙げてあらゆる経済団体に働きかけ、企業の資本力を初め業務経営方針、実績等をつぶさに調査して今日の厳しい経済情勢の変化に対応できる企業の誘致に全力を挙げて取り組まれるよう要望する。



## 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願1号	市立集会所の設置について	春日2丁目東区長 石田健蔵 外178名	採 択
請願2号	私立幼稚園園児急減対策等について	旭幼稚園長 谷口繁一 外5名	趣旨採択
請願3号	小山小学校の改築及び小山幼稚園の新築について	小山地区区長会長 佃 俊夫 外2名	採 択
請願4号	優生保護法改正に反対する意見書提出について	優生保護法改悪に反対する大野地区連絡会会長 宮腰正栄	継続審査
陳情1号	林道の補修と路面整備について	巢原生産森林組合長 山崎 武	継続審査
陳情2号	市道編入と道路新設等について	天神町区長 松田 国也	継続審査
陳情3号	優生保護法の改正に関する意見書提出について	横枕 野尻義雄 外29名	継続審査
陳情4号	勤労青少年ホーム体育館建設について	勤労青少年ホーム利用者連絡協議会 代表 石黒 元英	採 択

3月臨時市議会

新しい議会構成きまる

議長に兼井藤波氏

副議長に飯岡彦兵衛氏



兼井議長



飯岡副議長

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

●総務委員会

- ◎西川 文人 ○山口 忠男
- 兼井 藤波 大蔵原 登
- 林 保信 宮本 弘
- 高田新左衛門

●産業経済委員会

- ◎杉本 夏男 ○藤田 護
- 飯岡彦兵衛 松田 庄二
- 栄 正夫 奥村 忠光

●建設委員会

- ◎田原 哲也 ○木下 境
- 幅口 登 米村 喜六
- 斉藤 秀雄 山本 武

●教育民生委員会

- ◎砂子 三郎 ○野田幾久代
- 羽生 長 石蔵 一郎
- 高津 靖生 平間 源治
- 推井 清男

改選後初の第204回臨時市議会は、3月1日招集されました。まず地方自治法の定めにより、年長の山本議員が臨時議長となり、最初に議長の選挙が行われ、兼井議員が新議長に当選されました。引き続いて新しい議長のもとで会期を一日限りと定めた後、副議長の選挙が行われ飯岡議員が当選されました。また一部事務組合議会議員の選挙および常任委員の選任が行われ、新しい組織のもと、市政に市民の声を反映すべくスタートすることになりました。最後に理事者から提出の議案1件を承認し閉会しました。なお各常任委員および一部事務組合議会議員は次のとおり。



議長を選ぶ

**議会運営委員会**

- ◎宮本 弘 ○羽生 長
- 砂子 三郎 石蔵 一郎
- 杉本 夏男 斉藤 秀雄
- 奥村 忠光 高田新左衛門

**組合議会議員**

- 大野・勝山地区広域行政事務組合  
議会議員
- 田原 哲也 羽生 長
- 石蔵 一郎 斉藤 秀雄
- 推井 清男

●大野地区消防組合議会議員

- 藤田 護 飯岡彦兵衛
- 幅口 登 高津 靖生
- 林 保信 平間 源治
- 奥村 忠光 山本 武

 1. 木下 境 陽明町 2丁目	 2. 藤田 護 中津川	 3. 野田幾久代 春日 2丁目	 4. 山口 忠男 高砂町	 5. 飯岡彦兵衛 萩ヶ野	 6. 田原 哲也 南六呂師
 7. 砂子 三郎 本 町	 8. 松田 庄二 森 目	 9. 幅口 登 清和町	 10. 兼井 藤波 今 井	 11. 大蔵原 登 蔵 生	 12. 羽生 長 下 据
 13. 石蔵 一郎 富 嶋	 14. 西川 文人 牛ヶ原	<b>新 議 員 生</b> (議席番号順)		 15. 栄 正夫 上 野	 16. 高津 靖生 上 舌
 17. 杉本 夏男 明倫町	 18. 林 保信 堂 本	 19. 宮本 弘 元 町	 20. 米村 喜六 上 野	 21. 平間 源治 木 本	 22. 斉藤 秀雄 弥生町
 23. 推井 清男 泉 町	 24. 奥村 忠光 下 丁	 25. 高田新左衛門 御 給	 26. 山本 武 美川町	<b>議会を傍聴しましょう</b>  ◇次の定例会は 6月中旬の予定です◇	